

# 合同学術総会

## 第17回化学生物総合管理学会 第14回社会技術革新学会 知の市場 協賛

日時：2020年12月16日(水) 20:00～23:50

会場：オンライン開催 (Zoom meeting)

特別講演 立法による社会的課題の解決

山本庸幸 (弁護士、前最高裁判所判事、元内閣法制局長官)

一般発表 高度成長期の日本のイノベーション原理に関する一考察

山口真人 (社会技術革新学会 正会員)

一般発表 就業保証制度の提案

-日本の雇用慣行や制度が抱える課題とその解決に向けての考察-

勾坂行男 (社会技術革新学会 正会員)

〈プログラム詳細は、裏面をご参照ください。〉

### 〈参加方法〉

★参加資格:学会の会員以外の方の参加も大歓迎です。

★参加登録:事前登録制です。参加希望の方は、①参加者氏名(フリガナ)、②所属(勤務先等)を明記のうえ、

12月9日までにE-mail (kagakus \* cbims.net) 宛てにお申し込み下さい。

なお、定員に達し次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください。

### ★参加費

学会員の方:参加は無料です。

非会員の方:参加費は1,000円です。以下の口座に、12月10日までに振込み下さい。この期日までに振り込みが確認できなかった場合には、参加登録は自動的に取り消しになります。

みずほ銀行飯田橋支店,普通口座 2329303, 口座名 特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

※1 振込の際は、必ず参加者カナ氏名を振込み人名義として下さい。振込手数料はご負担下さい。

※2 出欠にかかわらず、一度振り込まれた参加費の返金はいりませんので、予めご了承ください。

※3 領収書は発行いたしませんので、振込時のご利用明細票をご活用ください。

★参加証:振込の確認ができたのち、開催当日の2日前(12月14日)までに、登録いただいたメールアドレス宛てにメールにてお送りいたします。参加証にてオンライン学術総会のミーティング情報のご案内をいたします。

化学生物総合管理学会 社会技術革新学会

# 合同学術総会

## 第17回化学生物総合管理学会 第14回社会技術革新学会 知の市場 協賛

### ■ プログラム ■

将来に向かって人々の生活の糧を支えるイノベーションを実現するためには、技術革新の達成のみでは不十分で、リスクの適切な管理を含めた取り組みが不可欠であるだけでなく、さらにこうした成果を社会に浸透させ社会変革に繋げていくために、人材改新や制度改革なども必須である。今回の学術総会では、制度改革の大きな礎となる立法の意味とあり方について論じるとともに、様々な視点から日本の現状を俯瞰的に検証しつつ、付加価値を生み出す国際競争力を維持し向上させる上で必要な日本のイノベーションを巡る課題の解決方法を探る。

2020年12月16日(水)

時間		発表者(敬称略)・所属
20:00	開会挨拶	増田 優 化学生物総合管理学会会長 社会技術革新学会会長 知の市場会長
20:05～21:20	特別講演	
20:05～21:20	立法による社会的課題の解決	山本庸幸 弁護士 前最高裁判所判事 元内閣法制局長官
	様々な社会的課題の解決のため、どのような考えの下に立法が検討されて制定され、それがいかに運用されていくか、その根本の発想の過程について、豊富な事例を元に説明をする。	
21:20～23:50	一般講演	
21:20～22:35	高度成長期の日本のイノベーション原理に関する一考察	山口真人 社会技術革新学会 正会員
	ホンダの事例を分析し、高度成長期に日本で行われたイノベーションの原理とそれを実現した格別の論理を解明し、現代の世界的な大競争を生き抜くためのヒントについて考察する。	
22:35～23:50	就業保証制度の提案 -日本の雇用慣行や制度が抱える課題とその解決に向けての考察-	勾坂行男 社会技術革新学会 正会員
	1990年以降現在までの日本経済の成長停滞と、同期間なぜイノベーションが起きなかったのか、その理由や課題について整理し、具体的な解決策の提案と有効性の考察を行う。	

題名、発表順は都合により変更になる場合があります。

プログラム詳細は化学生物総合管理学会ホームページ (<http://www.cbims.net/>) または社会技術革新学会ホームページ (<http://s-innovation.org/>) からご参照下さい。